

# 複合施設の相乗効果について

愛知県一宮市 | 2012年 【設計JV事例】

## 1. 尾張一宮駅前ビル

福岡県福岡市 | 2016年 【設計JV事例】

## 2. なみきスクエア



愛知県一宮市 | 2012年 【設計JV事例】

コンセプト

# 1. 尾張一宮駅前ビル | 駅を中心とした街の骨格を復活させる

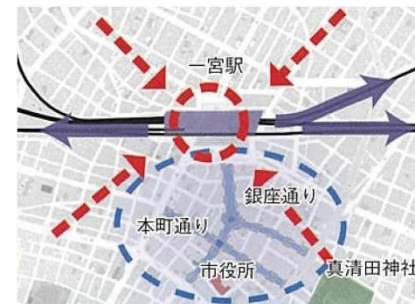




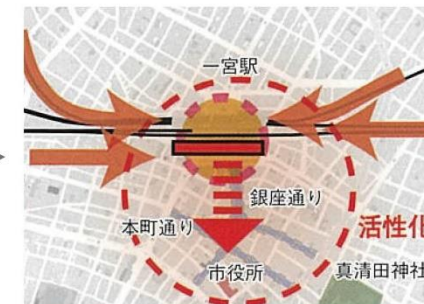
# 市民の日常的な交流の場 「シビックテラス」



乗降客数は多いが、ほとんどが通り過ぎるだけであった駅を  
再び地域の**賑わいの核**(社会基盤)とする

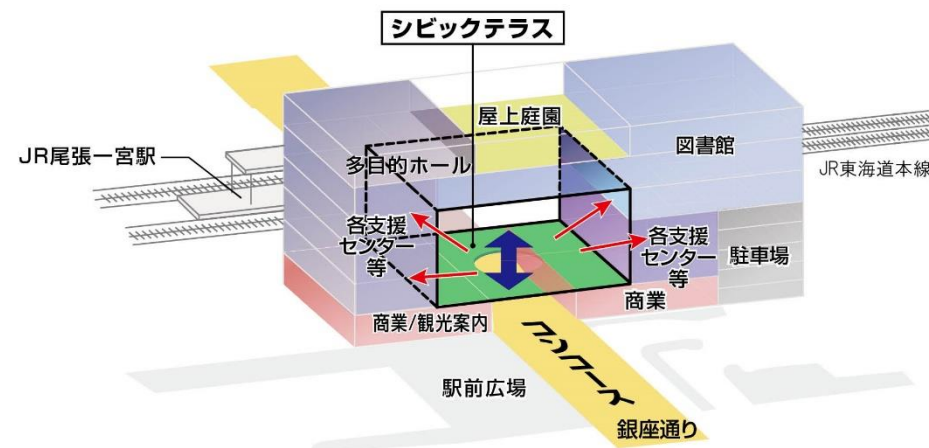


通り過ぎる駅から

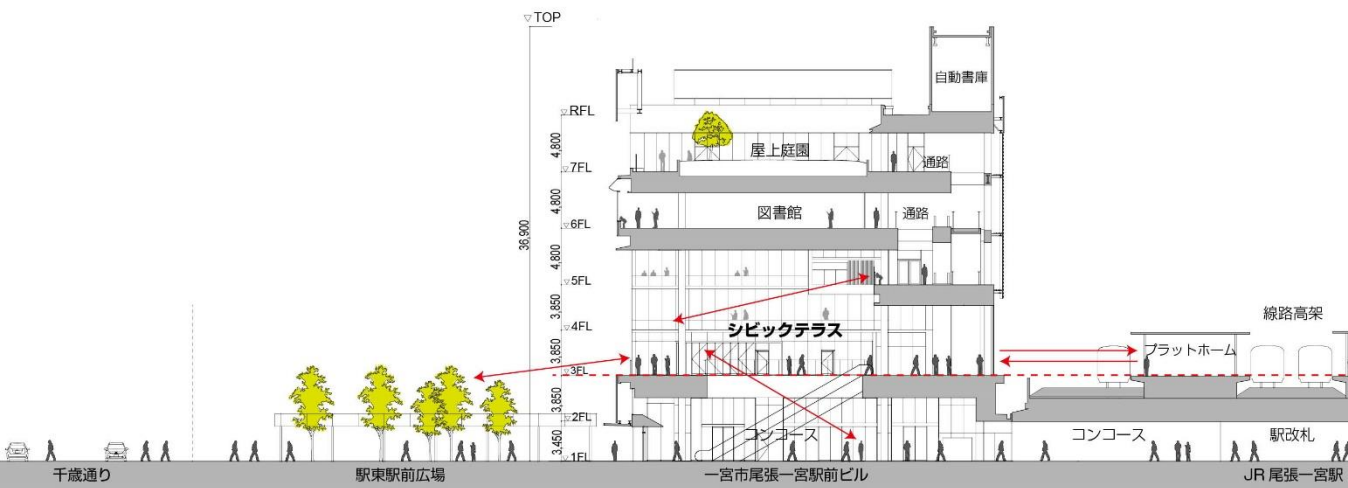


人が集まり賑わう駅へ

社会基盤再生のための装置 = 「シビックテラス」

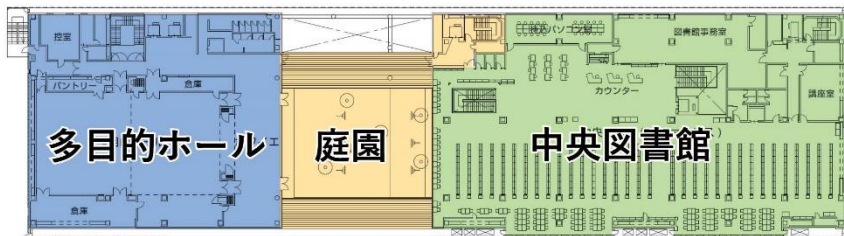


- ・3層吹抜の半屋外広場により、街、駅、市民、情報をつなぐ
- ・シビックテラスが施設全体の「玄関口」





7 F

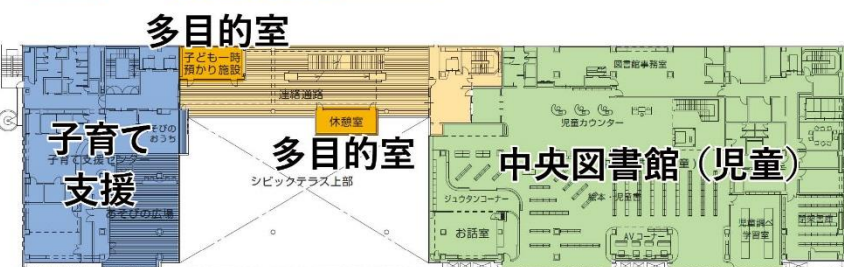


6 F



ビジネス支援から 図書館へ

5 F

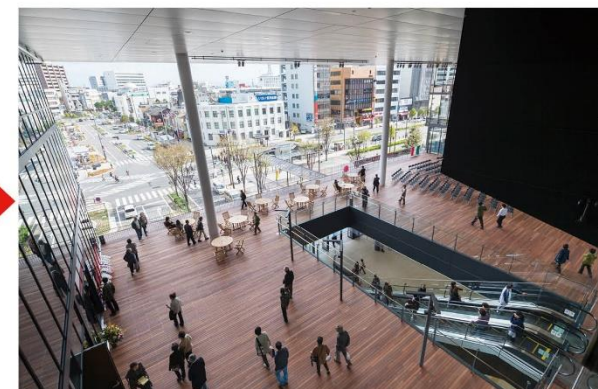
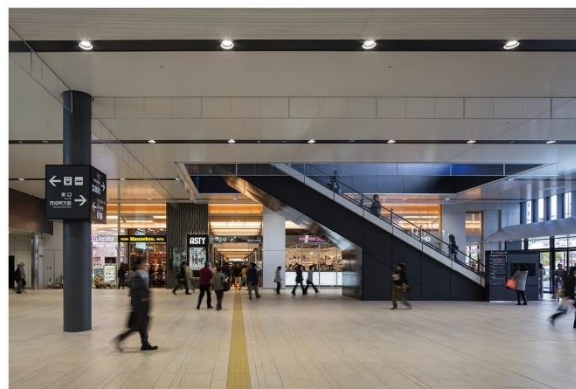


3 F



子育て支援から 児童図書館へ

1 F

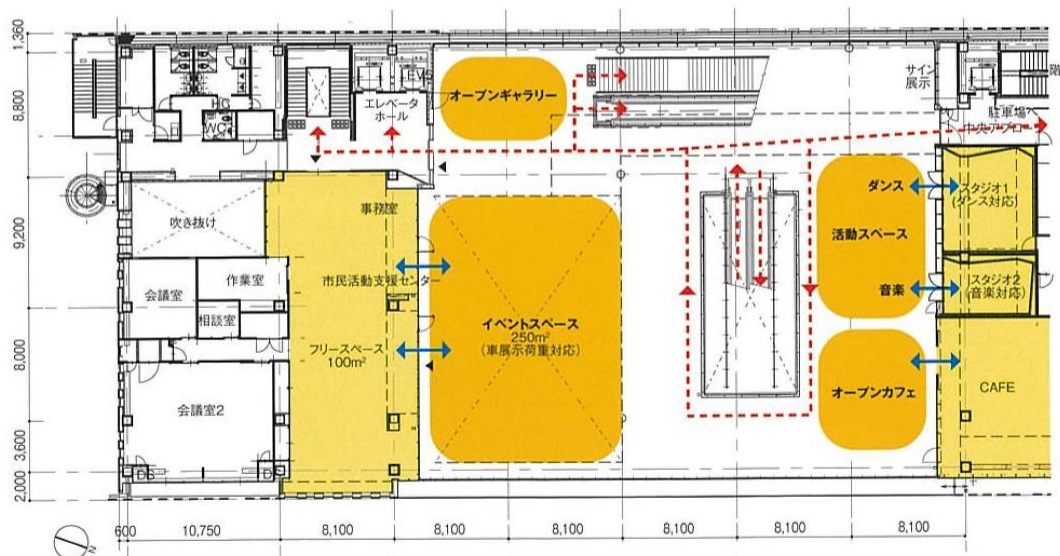


コンコースから シビックテラスへ

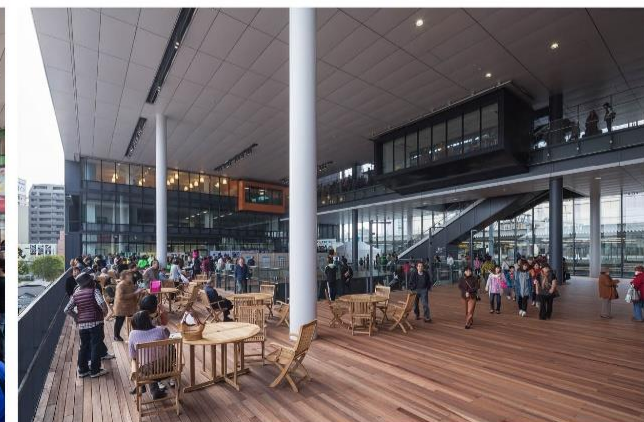
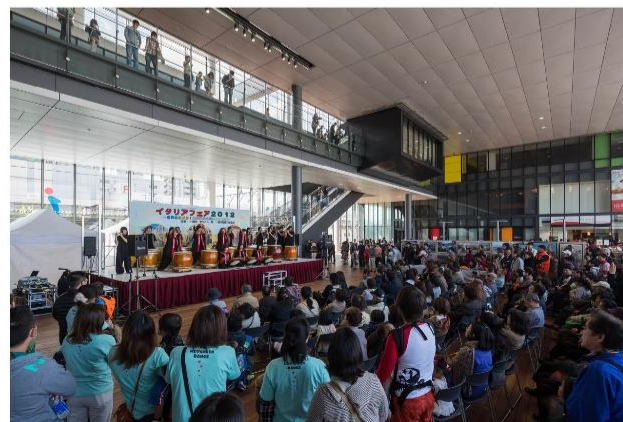


# 使われ方をイメージした 空間設計と施設運営

「シビックテラス」は、あらかじめ場所ごとの使われ方をイメージし、床仕上げの構造を変え、様々な活動に対応できる計画となっている



一宮七夕まつりとの連携



市民活動の発表と 日常の共有



福岡県福岡市 | 2016年 【設計JV事例】

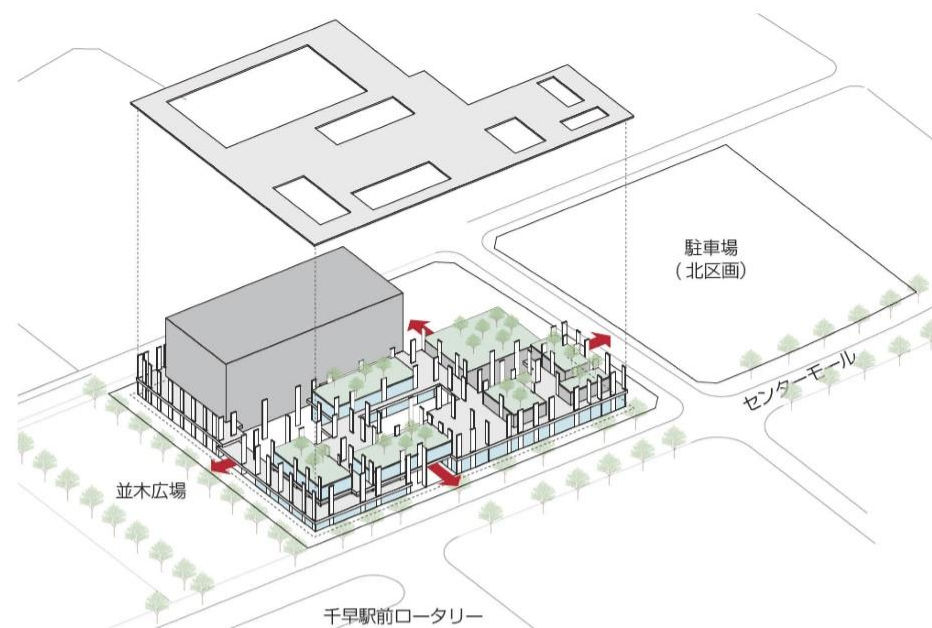
コンセプト

## 2. なみきスクエア | 街路の延長のような空間



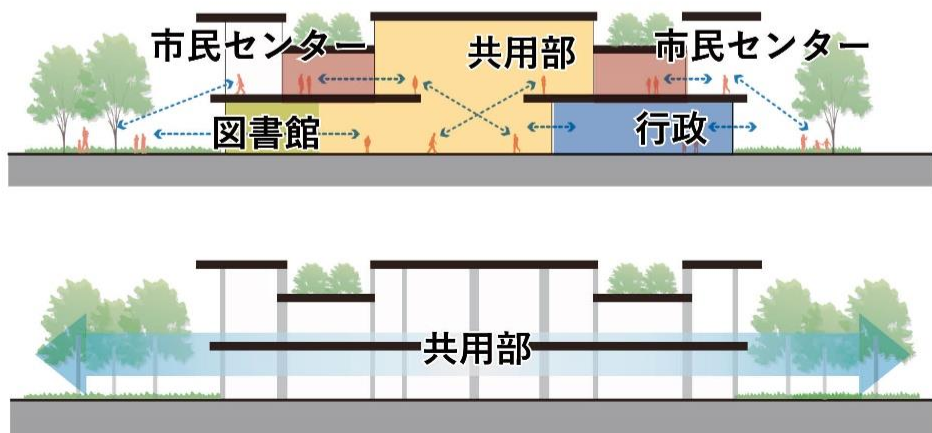


# 共用部は穏やかな領域をつくり出し 内外の環境や空間をつなぐ



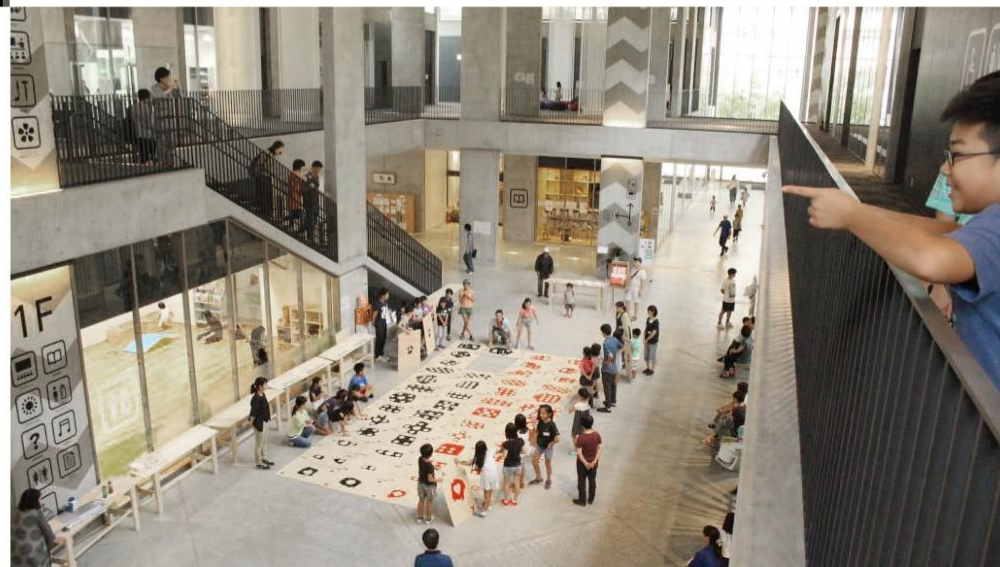
## 街路の延長のような空間

- ・人と活動と都市をつなぎ、新たなコミュニティの場を創出
- ・内外を連続させ、人々が気軽に立ち寄れる場所



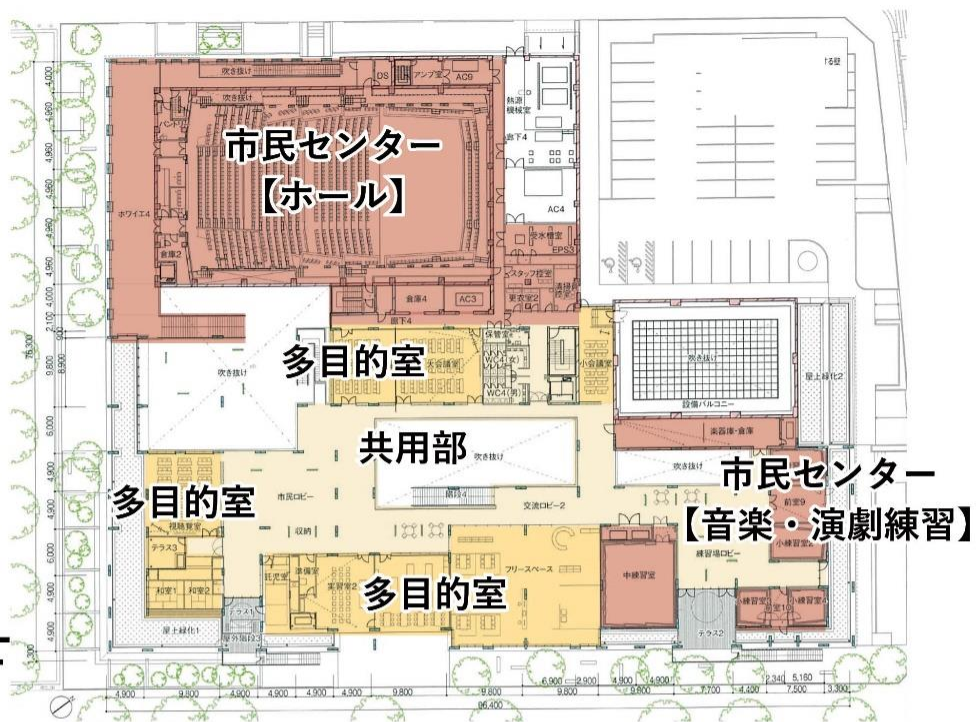
見る・見られる関係をつくる

街路のような空間をつくる

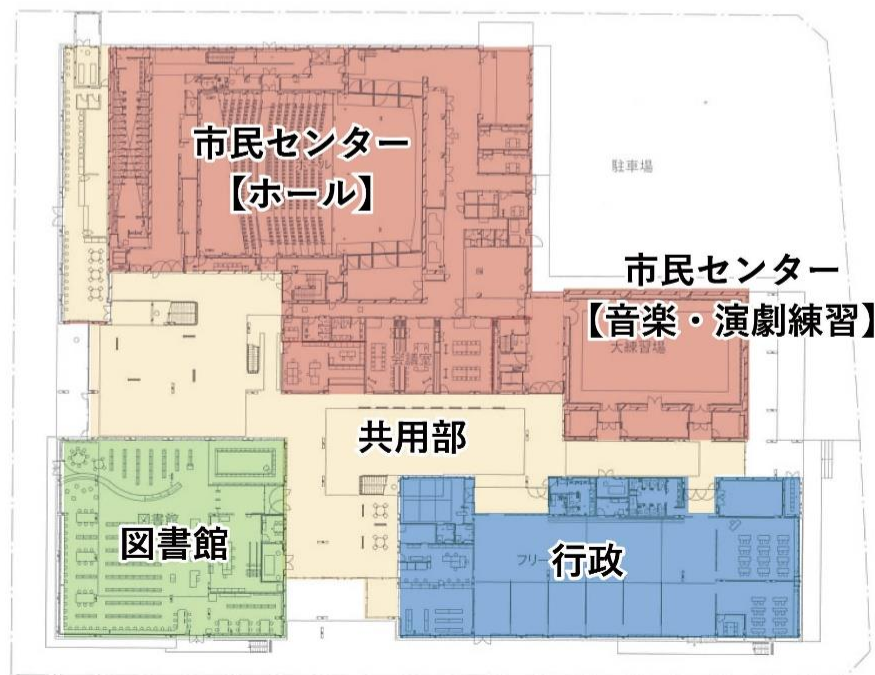




2F



1F





# 廃熱・蓄熱を利用して 半屋外のような心地よさをつくる



共用部は、内外が連続するオープンな空間の温熱環境をつくる

- ・31枚の結露許容型輻射パネルで温湿度を調整
- ・諸室の廃熱利用、躯体蓄熱で、熱源を用いず、外部環境より-3°C程度の温度調整を実現